

B.O.M. Newsletter #315web

2007年1月15日

2007年、あたらしい年が始まりました。今年もすばらしい音楽に出会い、皆さんの生活が少しでも潤うことのお手伝いできれば、何よりです。

音楽にはいろいろな聴き方、楽しみ方があります。われわれB.O.M. サービスは、アーティストの真摯な音楽を見つけ出し、それをリスナー/プレイヤーの皆さんにトータルな音楽文化として紹介することを旨としているつもりです。ニュースレターでいろいろなアーティストや音楽を紹介し、ムーンシャイナ誌を通じて、音楽を楽しむ方法を、少しでも広げたり、掘り下げていきたいと思っています。

本年も、なにとぞ宜しくお願いいたします。

ムーンシャイナ誌1月号は、ジェリー・ダグラスをカバーに、彼らIBMA基調講演の全訳で過去・現在・未来のブルーグラス像を示してくれます。そのほか、トラッドグラスの新しい提案と「トラッドグラスを引き継ぐ者たち」の紹介、名古屋ブルーグラス・ミーティングと中部地区ブルーグラス事情、新シリーズ「日本ブルーグラス(カントリー)年表」、ニッサンCM "Sunny Side of Life" 制作顛末記、ニューイングランド・フィドル、IBMAワールド・オブ・ブルーグラス・レポート などの特集。

定期購読は1年間(12冊)¥6,000- 半年間(6冊)¥3,300-。購読開始希望月をお知らせいただければ、振り込み票とともに早速お送りします。...定期購読を、なにとぞよろしく!!

日産自動車のCMでお聞きになっているとは思いますが我々RED CLAY RECORDSのアーティスト、クリス・シャープがバンド(デビット・ロング=マンドリ

ン、ジョージ・バックナー=バンジョー、ケヴィン・ケルバーク=ベース)で4月初めから約3週間来日の計画を進めています。地方や小規模のライブやワークショップなどを希望しています。サークルなどにもぜひご協力をお願いしたく思っています。渡辺敏雄までご連絡いただければ幸いです。

今月のニュースレターの< 郵送はありません。印刷物ご希望の方はご一報ください。無料でお送りいたします。

ブルーグラス新入荷

REB-1820 『JOHN STARLING & CAROLINA STAR/SLIDING HOME』¥2,573(本体¥2450)

Waitin' for a Train/Cold Hard Business/South Riding Tango/In My Hour of Darkness/The Riverboat Song/They'll Never Take Her Love Away from Me/Those Two Blue Eyes/Willin'/Irish Spring/Prayer for My Friends

初代セルダム・シーンのリード・ボーカリストとして故ジョン・ダフィと丁々発止、渡り合い抜群の旨み溢れる唄を聞かせてくれたジョン・スターリングとマイク・オールドリッジ(D)、トム・グレイ(BS)という三人のオリジナル・セルダム・シーンのメンバーに、ジミー・グッドロウ(M)、リッキー・シンブキンス(F)というオールスターが勢ぞろいという趣きの作品。ジョージマッセンバークのプロデュースの下、ワシントンDC地区のブルーグラスの伝統を引継ぐ音作りが満喫できる。現在はエミルー・ハリスのサポート・バンドとしてツアーにも参加しているが、ここでもエミルーとグラム・パーソンズの "In My Hour of Darkness"、スターリングと交流のあったローウェル・ジョー

ジの "Willin' "、ギリアン・ウェルチの "The Riverboat Song"、スターリング好みのジミー・ロジャース作品等々、全盛期の超人的な肺活量を感じさせる唄い回しは期待できないが、丁寧に真摯に訴えかける。

REB-1821 『KENNY & AMANDA SMITH BAND/ TELL SOME』 ¥2,573¥(本体2450)

Shoutin' Time/Someday Soon/Mary Had A Little Boy/Stepping On The Clouds/Angels Calling At My Door/One More Change, Lord/I Know Why/I've Got More To Go The Heaven For/Free Indeed/A Great Big Hand/Till I Get Home/I Can't Sit Down/Tell Someone How Precious He Is

ロンサム・リバー・バンドのリード・ギタリストとして一時代を築いたケニー・スミスと伴侶のアマンダによる早くも4作目、ゴスペル・アルバム。透明感と力強さを兼ね備えたアマンダの強力なボーカルとケニーのシュアでタイトなギターを中心にバランスの良いブルーグラスを楽しめる。新加入のジェyson・デビス(bj)、ジェyson・ロバートソン(m)、ザッカーリー・マックラム(bs)、ダニエル・カーワイル(f)の滲刺としたプレイも好感度大。新しいソングライターの商品が中心であるがウエイド・メイナーの "I Can't Sit Down" を取上げるあたりのセンスが憎い。ドイル・ローソン & キックシルバーバリのソリッド感が嬉しい "Stepping On The Clouds" に続くケニーの甘いボーカルをフィーチャーした "Angels Calling At My Door" 等々、良く練られてバラエティに富んだ選曲。質の高い作品に仕上がっている。

REB-1819 『MARK NEWTON BAND/HILLBILLY HEMINGWAY』 ¥2,573(本体¥2450)

Hillbilly Hemingway/Homefolks/It's a Good Town to Die In Alexander/Are You Lonesome Tonight/Stillhouse Road/Fraulein/When the Trumpet Sounds/Old Dirt Road/What About You/Blessings/Downforce/Jesse and Me

バージニア・スクワイアーズで来日経験もあるマーク・ニュートン、女性ブルーグラスをフィーチャーした "Follow Me Back To The Fold" (REB-1764) という絶妙の企画で '91 年の IBMA レコード・イベント・オブ・ザ・イヤーという快挙に輝くマーク・ニュートン、今回は名プロデューサーでシンガー・ソング・ライター & ミュージシャンのカール・ジャクソンの全面協力を得て、これまた素晴らし

い作品を作り上げた。最近のカール・ジャクソンはルービン・ブラザーズへのトリビュート・アルバムの成功を盾にアリシア・ニュージェント、ブラッドレー・ウォーカー等々、メイン・ストリーム・カントリーを微妙にかすめた、アコースティック・カントリー・タッチのコマーシャルなブルーグラス・サウンド作品を立て続けに発表しているが、ここでもワンフレーズで印象に残る抜群の曲作りとコーラスで貢献。マーク・ニュートンの唄を守り立てている。リッキー・スキヤッグス & ケンタッキー・サンダーの元メンバーで超絶フラットピッカーでソングライターとしても才能を發揮するクレイ・ヘス、アンディ・ポール(M)、凄まじいオリジナル・インストも提供しているジョンウィート(BJ)等、新メンバーによるバンドも素晴らしい。間違いなくマーク・ニュートンの最高傑作。

REB-8001 『V.A./TRUE BLUEGRASS ESSENTIALS』 ¥2,079(本体¥1,980)

Sitting On Top Of The World/Fox On The Run/Rain and Snow/John Hardy/Shady Grove/Little Birdie/Man Of Constant Sorrow/Don't Let Your Deal Go Down/Orange Blossom Special/Going Across the Sea/Wildwood Flower/Roll In My Sweet Baby's Arms/Home Sweet Home/Little Maggie/Black Mountain Rag/Down In The Willow Garden/Handsam Molly/Stone Coal West Virginia/Pretty Polly/Long Journey Home

ブルーグラスの王道を突き進むレベル・レコード社に残る多くの音源の中から、本物のブルーグラスと呼ぶに相応しい選曲によるお徳用コンピレーション・アルバム。ダン・ティミンスキー在籍時のロンサム・リバー・バンド出世作 "SITTING ON TOP OF THE WORLD"、カントリー・ジェントルメン "Fox On The Run"、デル・マッカーリーの "Rain and Snow"、トニー・ライスの "John Hardy" 等、最初の曲面を見るだけでわくわくする。ビル・エマーソンの "Home Sweet Home"、ラリー・パーキンスとロニー・ステュアートが在籍時のナッシュビル・グラスの "Roll In My Sweet Baby's Arms" やレッド・アレンのシングル盤、ウィルマリー・クーパー、リリー・ブラザーズ等のベテランからジェームス・アラン・シェルトン、ジェームス・ブライス、ケニー & アマンダ・スミス等まで、ドライブの御伴に最適、ブルーグラス嫌いの同乗者には拷問のような作品。

SKFR-2017 CADILLAC SKY 『Blind Man Walking』CD¥2,573- (本体¥2,450-)(歌詞付)

Born Lonesome/Insomniac Blues for Matthew/You Again/Homesick Angel/Mountain Man 他全13曲

メチャ斬新なサウンドと強力なオリジナル・ソングでリッキー・スキャッグスをノックアウトしたテキサスの若いバンド、キャディラック・スカイの全米デビュー作。ジェットコースターのようにスリリングなマット・メネフィーのバンジョーを軸にブライアン・シン普森(m)のオリジナルとボーカルが新鮮なメロディーを紡いでいく。直感的なロス・ホームズ(f)のアドリブ、アンディ・モリッツ(bs)、そしてひとり平均年齢を上げるマイク・ジャンプ(g)はかつてアンディ・オウエンズ・プロジェクトにいた。ビル・モンローのハイロンサムを自分たち流に解釈、ブルーグラスの真髓を「正直なエネルギーに溢れた寂寥感と山らしさ」という彼ら、見事に想いとメッセージを発している。一昨年、デビッド・グリスマンが発掘したオールド・スクール・フレイト・トレインや、また、ブルーグラス復帰宣言をしたクリス・シーリらと同様、21世紀の第4世代のブルーグラスが確実に始まっている。あるメディアは彼らを称して、「ビル・モンローの伝統にビートルズのカラフルなスタイルを混ぜ込み、ジャズとクラシックのトッピングをした」と表現、当たらずとも遠からずといったところだ。モンロー/ブルーグラス賛歌 "(Bluegrass) Never Been So Blue" にはそんな彼らの想いが詰め込まれている。

LF-3257 SHAD COBB CD¥2,888- (本体¥2,750-)

Mississippi Sawyer/Chief Sitting Bull/Sally Ann/Sheebag & Seemore/Sally Goodin' 他全11曲

昨秋来日したジョン・コーワン・バンド最大の発見は天才シャド・コップだった。フィドルのボウが弦に張り付いて、しかも意表をついて波乗りして踊り出すのだ。ものすごい呼吸とインパクト、今から6年も前に発表されたこのデビュー作でも十分に大きく空気を吸い込んで波打っている。楽器が唄い、踊り、泣き、魂を揺さぶるとはこういうのを言うんでしょうね。またこのアルバム、単なるライブで売するための小遣い稼ぎの自費制作品なのだが、シャドのソロ(すごい"Sally Goodin'")から、ベースやバンジョー、ギターとのデュオ、ジブシー・

チューン、ワルツから、ハンク曲まで、けっこう飽きさせない楽しい作品に仕上げられている。そうそう、お仲間はデブ・タルボット、キース・リトル、デビッド・グリア、テリー・エルドレッジ、マイク・コンプトンに弟のジェシ・コップほか。これは6年前、まだ20代前半、ナッシュビルに出てきて間もない頃、すでにオズボーン・ブラザーズに雇われていたとき、全曲ライブの一発録り、去年の秋がどんなだったか、想像できるでしょう...?!(その人となりについてはムーンシャイナー誌10月号の「ジョン・コーワン・バンド・ツアー一部始終」をご覧ください。また何号だったか忘れたけど、フィドル&バンジョーにリズム美学があること、ここでのキースとシャドでご納得ください...)とにかく、シャドは天才ブルーグラス・フィドラーです!!

AR-170 CASEY & CHRIS HENRY & the Two-Stringers 『Get Along Girl』CD¥2,888- (本体¥2,750-)

Two Hands on the Wheel/Walkin' West to Memphis/Going Back to Old Virginia/Sound I Hear 他全13曲

すばらしい姉弟デュオのデビューである。そのモンロー・スタイル・マンドリンであたらしいエネルギーを引き出したクリス・ヘンリーがすばらしいトラッドグラスのエッセンスに溢れるオリジナル・ソングを軸に、姉ケーシーの正統派スクラッグスでめっちゃシュアなバンジョーとテナーを見事に生かし見事なブラザー・デュオを決めている。バックには、タイラー・グラントのギターとミッシェル・レイズンのベースというシュアなリズムに、あの天才フィドラー、シャド・コップを迎え、20才半ばの姉弟とはとても思えない見事なトラッドグラス・アルバムに仕上げている。ふたりの母はバンジョー教則で有名なマーフィ・ヘンリー、父はマンドリンのレッド・ヘンリー。やっば、蛙の子は蛙か。トラッドグラスやブラザー・デュオのファンにお勧め!!

BCD-16736 MAC WISEMAN 『On Susan's Floor』4-CD Box & 60-Page Book ¥17,325- (本体¥16,500-)

ドット、キャピトルの音源を集大成した『It's Sweet to Be Remembered』(BCD-15976¥23,100-)に続く、マック・ワイズマンの足跡を辿るボックス・

セット第2集。今回は1965年から79年の全114曲。65年、自らのレーベル、ワイズ・レコードでのカナダ盤LPにはじまって、ルーラル・リズム、古楽ドットへの復帰、レスター・フラットとの共演で話題となったRCA ヴィクターでのソロ・アルバムと、ブルーグラス、カントリー、フォーク等々、そのあまりにも多彩な能力を多分野に振りまきすぎたが故に、それまで以上に毀誉褒貶激しく、ブルーグラス・ピュアリストからは見過ごされてしまった時代の音源集。最後には、ウディ・ハーマン・オーケストラとのジャズ/ポップ・ソングでシングル・チャートを飾ったという、チャーチル・レコードでの録音までが収録されている。とはいえ、そこにはオズボーン・ブラザーズとの共演アルバム(『Bluegrass』66年ドット)や、エディ・アドコック、アングル・ジョッシュ・グレイヴス、ボビー・トンプソンなどをバックにした『Concert Favorites』(73年RCA ヴィクター)など、決して忘れてはならない作品も含まれているので要注意である。因みに、RCA 時代にはレスターとの共演作3作で正統派のファンにも歓迎された一方で、ノヴェルティ・ソング"Johnny's Cash and Charley's Pride"をシングル・ヒットさせ、ジョニー・キャッシュとチャーリー・プライドをカバーしたアルバムなんかも作っている。

ALU-1014 TIM O'BRIEN 『The Crossing』 CD¥2,888- (本体¥2,750-)

Ireland's Green Shore/Wagoner's Lad/Down in the Willow Garden/Lord Mac-Cumberland Gap 他全16曲

1曲目のステュアート・ダンカン、エドガー・マイヤー、ケニー・マローンの凄いいんタープレイとデル・マッカーリーのテナーが「アパラチアとアイルランド」のつながりを感じさせてくれるハモンズ・ファミリーの曲につづいて、ブルーグラス界からはアール・スクラッグス、ジェリー・ダグラス、ジェフ・ホワイト、ダーク・パウエル、ダレル・スコット他、アイリッシュ界からシーマス・イーガン、フランキー・ギャビン、"Willow Garden"を唄うポール・ブレイディ他を招いて「アパラチアン・ケルト」というあたらしいコンセプトを明確に示したティム・オブライエン、佐竹晃との共同プロデュースで1999年に発表した大名盤がふたたび入手可能になった。ティム・オブライエンという、稀有のシンガーであり、ミュージシャンであり、ソングライ

ターである偉大なアーティストをもっと深く知っていただきたい。同時にブルーグラス/オールドタイムの根っこが「アパラチアン・ケルト」にあることを本作を通して直に感じて欲しい。ムーンシャイナー12月号にも秋元愼がティムの履歴を追っている。ティム入魂、近年の最高作、強力お勧め!!

NRM-001 高橋義郎 & New Road Map 『to the Foggy Mountain』CD¥2,000- (本体¥1,905-)

Polka on a Banjo/Red River Valley/Love Letter in the Sand/I Wonder Where You Are Tonight/Jimmy Brown, the Newsboy/Salty Dog Blues 他全16曲

大ベテラン・ブルーグラス・シンガー、高橋義郎がニュー・ロード・マップ(渡辺治m、川井善之bj、阪野克之f、渡辺真人d、関口紀行bs)を率いてのフラット&スクラッグス三昧。自ら臆することなく、「フラット&スクラッグスのコピーバンド」と称する痛快集団。個性やオリジナリティーというお手軽なものを求めず、長い修練ののちに生まれる何かを...、なんてかっこ良すぎるけれど、憧れの音楽に手を伸ばそうとする一途な想いは何物にも変えがたい。技術的には、たしかに音楽を、ましてブルーグラスを生業とする人たちほどに音楽する時間が作れるはずもなく、彼らパートタイム・ミュージシャンがこの非常に高度なテクニックとアンサンブルのコピーは容易ではない。しかし、コピーとはすなわち学ぶこと、その心意気であり、学んだ先には必ず得るものがある。英米圏以外では日本とチェコが世界でもっともブルーグラスの盛んな土地だという。胸のすくような疾走感(ドライブ)となんとなく哀愁(ハイロンサム)、そして一度はまれば抜け難い泥沼のような努力(テクニック)と献身(ムーンシャイナーの定期購読...)を求めてくるブルーグラスという音楽の魅力、何故だろう? それは徹底的に学ばなければ分からないはずだ。ムーンシャイナー2月号で元ピッキン誌のドン・キシルが、あるジミー・マーティン・フォロワーのサブタイトルに選んだ言葉は、「模倣こそは追従のもっとも真摯なかたち」というものだ。

グラミー & SPBGMA 特集

米国のクリスマス/ホリデイ・シーズン、12月から1月にかけては新譜の発表があまりありませ

ん。そこで今回は2月に発表されるグラミーと、ブルーグラスのSPBGMA ノミネートを見ながら最近話題のアルバムやアーティストを紹介しましょう。

第49回グラミー賞最終ノミネート

2月11日に授賞式を迎えるグラミー賞最終ノミネートから、B.O.M.のお勧め作品です。

今年はメインストリーム・カントリーの部門に若手ブルーグラスやオールドタイムが最終ノミネートに残っています。どれも面白いよ…。

【ブルーグラス部門】

ROU-0583 THE GRASCALS 『Long List of Heartaches』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)

Home/Will You Be Loving Another Man/Hard Times/Rolly Muddy River/Keep Me from Blowing Away 他全13曲

ザ・グラスカルズの2枚目の作品。ナッシュビルをベースにサイドメン、スタジオ・ミュージシャンとして長年に亘りキャリアを積み重ねて、'04年にドリー・パートンやブルックス & ダン等のメジャー・アーティストのオープニング・アクトを務めるなど大きなステージを経験、満を持してのデビュー後、大ブレイク、人気実力共に当代随一のブルーグラス・バンドとしてヘッドライナーとして活躍中である。メンバーの内、二人のテリー(エルドレッジ & スミス)とジミー・マッティングレーの三人がオズボーン・ブラザーズに参加、ジェイミー・ジョンソンはボビー・オズボーンのクローンとまで云われるほどボーカル・スタイルに影響を受け又、前作では御大ボビー・オズボーンが参加、ここでもオズボーンのナンバーから三曲カバーしていることからもつながりの強さを感じる。カントリー・シンガーでブルーグラスのシンパとしてステイション・インや地元のフェス、ナッシュビル・ミュージック・クラシック等にも顔を出しているダークス・ベントリーやスティーブ・ウォーリナー、とんでもない存在感を示すジョージ・ジョーンズがゲスト参加。斯界最高峰の分厚いトリオ・コーラスと熟練の楽器ワークが楽しめる。(ムーンシャイナー10月号より、秋元慎)

YEP-2137 JIM LAUDERDALE 『Bluegrass』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)

ドワイト・ヨーカム同様にオルタナ・カントリーで登場、その後のアメリカナ・ムーブメントで躍、スターダムにのし上がったジム・ローダーデイ

ル、ルーツに立ち返ったブルーグラス作品。これまでにラルフ・スタンレーとのコラボレーションを2作残しているが、ここでは其の経験を充分に生かし、ビル・ボーンディックとランディ・コーアズ(d,v)を共同プロデューサーに迎えて、ナッシュビルの若手を大胆に起用、半端ではないブルーグラスへの傾倒振りを感じさせる作品に仕上げている。ジョージ・ジョーンズ、ジミー・マーチンに通じる説得力のあるボーカルを支えるのはブライアン・サットン(g)、デイブ・タルボット(bj)、ジェシー・コップ(m)、ジョッシュ・ウィリアムス(m)、シャッド・コップ(f)、ルーク・ブラ(f)、デニス・クロウチ(bs)他。

スタンレー風味のハイ・ロンサムとバック・オウエンス風の典型的なカントリー・タッチのメロディのが微妙に混ざってハード・ドライビングなビートに乗っているのが非常に新鮮な "Mighty Lonesome"。ツイン・フィドルがすずりなく "I'm Still Living For You" ではランディ・コーアズのソウルフルなテナー魅力。今年のIBMAで観たショーケースの中でも特に印象に残った。(ムーンシャイナー11月号より、秋元慎)

B000496102 MARTY STUART & his Fabulous Superlatives 『Live at the Ryman』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)

カントリー・スターにしてサウンド・クリエイターでもあるマーティ・ステュアート、少年時代にサリバン・ファミリーを皮切りにレスター・フラット & ナッシュビル・グラスに参加、ジョニー・キャッシュ・ファミリーの一員でもあり、ナッシュビルのミュージック・ビジネスの王道を歩んできたマーティが最も愛情を注ぐブルーグラスに正面から取り組んだライブ・アルバム。サポートするのは自身のバンド、ファビュラス・スーパラティブからケニー・ボーン(g)、ブライアン・グレン(bs)、ハリー・スティンソン(drums)に加えてチャーリー・クシュマン(bj)、ステュアート・ダンカン(f)、ゲストにアンクル・ジョッシュ(d)という面子でフラット & スクラッグス好きには堪らない、ドライブ感溢れるサウンドを聞かせてくれる。WSMの名物アナウンサー、エディ・スタップスの紹介に導かれてフィドルの極めつけ "Orange Blossom Special" で一気にヒートアップ。ジミー・マーチンの "Homesick" やスクラッグスの "Shuckin' the Corn" 等々のスタンダード、"Hillbilly Rock"、"The Whiskey Ain't

Workin' Anymore" など自身のヒットのブルーグラス・アレンジ。極めつけはアンクル・ジョッシュの
パワフルなパフォーマンス。(ムーンシャイナー 3
月号より、秋元慎)

**SKFR-1007 RICKY SKAHGGS 『Ricky
Skaggs & Kentucky Thunder
Instrumentals』 CD ¥2,573-(本体
¥2,450-)**

ブルーグラス界の牽引車としてシーンを引っ張る
リッキー・スキヤグスの最新作はケンタッキー・
サンダーをフィーチャーしたインスト・アルバム。
リッキーがブルーグラスにカムバック当初は第一
世代へのリスペクトいっぱいのスタンダードの
カバーが中心だったが、このところ若手を前
面に押し出した独自のサウンドをクリエイトし
ている。コーディ・キルビー(g)、アンディ・レフ
トウィッチ(f)の超絶テクニシャンぶりは驚嘆
に値する。ジム・ミルズのバンジョーの特性を
知り尽くしたプレイも注目。スキヤグス・ファ
ミリーのレコーディングには欠かせないサポー
ター、ジェフ・テイラー(accordion)、アン
ディ・スタットマン(clarinet)が参加、ア
パラチアからアイルランド、ヨーロッパへと
音の世界を広げる事に貢献している。リッキ
ーのマンドリンを中心にアコーディオンと絡む
"Goin' To Richmond"、壮大なスト
リングスへ引継がれる"Crossing the Briney"
等、アイリッシュ音楽をブルーグラスに昇華
する様は、よりルーツ志向のティム・オブ
ライエンと比べると対照的で興味深い。故
バツサー・クレメンツへのオマージュ"Miss
ing Vassar"。リッキー風ドウグ音楽
"Dawgs' Breath"等、盛りだくさん。
(ムーンシャイナー 8月号より、秋元慎)

**ROU-0580 RHONDA VINCENT 『All
American Bluegrass Girl』 CD¥2,573-
(本体¥2,450-)**

マーサ・ホワイト提供による、お馴染みの
キャラクターをペイントしたバスを駆って野
外フェス他、全米を席卷、女性ブルーグ
ラスのトップランナーとして絶大な人気
を誇るロンダ・ビンセントの最新作。
レベル社で3枚のソロ作とファミリー・
バンド、サリー・マウンテン・ショー
の作品を残してカントリーに転身、
ワーナーから2枚出した後、
ブルーグラスに復帰後、ラウンダー
から早くも5枚目のアルバム。
デッカ時代のオズボーンズを髣髴
させるゴージャスなドレスに身を
包んで、ビル・モ

ンロー、ジミー・マーチンに通じる破壊力
のあるブルーグラスを聞かしてくれ
る。ビッグK ことケニー・イン
グラムツボを心得たバンジョー
を得て益々、ドライブ感を増した
サウンドを産み出すのはジョッ
シュ・ウィリアムス(g)、ミッ
キー・ハリス(bs)、ハンター・
ベリー(f)、曲調に応じてス
テュアート・ダンカン(f)、
ランディ・コアズ(d)、
ブライアン・サットン(g)が
サポート。鉄壁の音作り
に成功している。ブルー
グラス賛歌という趣の
タイトル曲、ポビー・
オズボーンとドリ
ー・パートンを
ゲストに迎えて
夫々、ロンダ
とのデュオを
フィーチャー
した2曲、
ロイ・エイ
カフの名曲
をチャーリー
・ルービン
が美しいア
レンジに仕
上げた
"Precious
Jewel"が
印象に残
った。
(ムーン
シャイ
ナー 6
月号
より、
秋元
慎)

【カントリー・インスト】

**SH-4016 CASEY DRIESSEN CD¥2,573-(本
体¥2,450-)**

スティーブ・アール&ブルーグラス・
デュクス、ティム・オブライエン、
ベラ・フレック・アコースティック・
トリオ、マーク・シャッツ&フ
レンズ等々で大活躍中、現在、
最もイケてるフィドラー、
レッド・シューズ・ガイとして
知られるケイシー・ドリー
センの初ソロ・プロジェクト。
ジョン・ハートフォードの
エアロ・ブレインを彷彿させ
るアグレッシブなジャケット。
トラッド曲をフィドルの2
重奏、4重奏を用いて、斬
新なアイデアで料理する
手法は、パークリー音楽院
で薫陶を受けたマット・
グレイザーやホームスパン
社の教則物「ストリング・
グルーヴ」で共演したダ
ロル・アンガーと同じ
ジャズ的な実験的要素の
強いアレンジを施しながら
も、アコースティック、
エレクトリック、デジタル、
アナログが有機的に絡
み合った土の香りのする
刺激的で、オリジナル
作品と共にイマジネ
ーション溢れる、
これまでに無いル
ーツ音楽を聞か
せてくれる。
自身の弓で弦を
叩くフィドル・
チョップによる
リズム・プレイ
に呼応する
ジェイミー・
ハダッド
(percussion)
とビクター・
クラウス
(bs)をボ
トムに据
えて、
ジェリー・
ダグラス
(d)、
ベラ・
フレック
(bj)、
ティム・
オブライ
エン
(bouzouki)
等々、
錚々たる
メンバー
を自分の
世界に
引き寄
せてい
る。
(ムーン
シャイ
ナー 7
月号
より、
秋元
慎)

**SH-4001 BRYAN SUTTON 『Not Too Far
from the Tree』 CD¥2,573-(本体
¥2,450-)**

斯界で現在、最も多忙なギタリストの一人、ブライアン・サットンの新作はフラットピッキング・スタイルのバイオニア、ドック・ワトソン、ノーマン・ブレイク、ジョージ・シャフラー他、豪華なゲストを招いてのデュエット集。子供の頃から最も影響を受けたというダン・クレアリーを迎えて" Forked Deer"。最初の手ほどきを受けたという父親のジェリー・サットンとの" Billy in the Lowground" は映画『フィールズ・オブ・ドリーム』の親子のキャッチボール・シーンが浮かんで来た。シンプルなメロディを大切にしながら広がりのある空間をクリエイトするデビッド・グリアとの" The Old Spinning Wheel"。ギブソン J-45 の乾いた響きが特徴のラス・パレンバーグを分厚いリズム・ギターで支える" Big Sciota"。ギタリストとしてのアール・スクラッグスとの" Give Me the Roses" ではアールの特徴的なリズム・プレイが随所に聞かれて興味深い。トニー・ライスとの凄まじいバトル" Dusty Miller" 他、リズム・プレイの良いショーケースとも云える作品。(ムーンシャイナー 4月号より、秋元慎)

RHY-1029 JIM VAN CLEVE 『No Apologies』 CD¥2,573- (本体¥2,450-) (歌詞付)

マウンテン・ハートのフィドラーで、現在もっともアグレッシヴなブルーグラス・フィドラーのひとり、ジム・バンクリーヴのデビュー・ソロ作品だ。インストが6曲とボーカル物が5曲、アダム・ステッフィ(m)、クレイ・ジョーンズ(g)、ジェイソン・ムーア(bs)といったバンドの同僚にロン・スチュワート(bj)、ロブ・アイクス(d)の6人を基本に、ブライアン・サットン(g)を5曲で起用、といったバックの凄いこと凄いこと...!! ボーカル・ゲストにロニー・ボウマン(世界一速いブルーグラス曲挑戦!?)、ソニヤ・アイザックス、バリー・アバーナシー、そして自身が2曲で歌う。ベニー・マーティンやスコット・ストーンマンら先人のノウハウを基礎に、ステュアート・ダンカンらが築いている現代ブルーグラス・フィドルのスパイスを効かせながら、それでもひたすら突っ走るこのアグレッシヴさはアルバムを通して見事なローリングヒルのジェットコースター気分を味わわせてくれる。フラット&スクラッグスの超名曲" We Can't Be Darlings..." を聴けば、皆さんは納得されるだろう...、50年代に完成されたブルーグラスが半世紀

を経た今も、執着と挑戦の対象であり続けるのか、つまりそれがブルーグラス、五つの楽器が一瞬の隙も見せずにひたすら緊張し続けている理由なのだ。凄い!!

SH-4017 CHRIS THILE 『How to Grow a Woman from the Ground』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)、歌詞付)

21世紀の若者ブルーグラスを象徴するような才能と魂が詰まった大秀作。ほぼ全員が25才、ブルーグラスの未来を背負っていくスーパーピッカーらによるキョーレツなスタジオ・ライブ、一発録り!!

【カントリー・アルバム】

ARI-88172 ALAN JACKSON 『Like Red on a Rose』 CD¥2,783- (本体¥2,650-)

ゴスペル部門にノミネートされた『Precious Memories』(ARI-80281¥2,783-)で新生面を拓いたアラン・ジャクソンが、アリソン・クラウスをプロデューサーに迎えて更なる進化を遂げた話題作。クールでときにジャジーなスタイルをも聴かせるという、これまでのアランのイメージからは予測できないようなサウンドをも取り入れて、アランの絶妙のヴォーカルを浮き彫りにするという、期待を遥かに超えた見事な作品

【カントリー男性ボーカル】

B000444602 GEORGE STRAIT 『Somewhere Down in Texas』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)

80年代から現在まで、正統カントリーの王道を守りつづけてきたジョージ・ストレイト、ひとつ前のアルバム(05年作品)からの" The Seashores of Old Mexico" でノミネート。いつに変わらぬストレイト節満載、これ以上はないくらいの正統カントリー・バラードを中心にパーフェクトなヴォーカルを堪能させてくれる。

【カントリー・ボーカル・デュオ or グループ】

SH-4014 THE DUHKS 『Migration』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)、歌詞付)

オールドタイム・ストリングバンドの曲がメジャーカントリーの一角に食い込むという、前代未聞の快挙をなしたザ・ダックスの最新作。ティム・オプライエンの制作で、かつてのオールドタイム音楽のイメージとはまったく違うあたらしい形のアパラチア音楽として聴いて欲しい秀作。

COL-80739 DIXIE CHICKS 『Taking the Long Way』CD¥2,783(本体¥2,650)

そのアグレッシブなブッシュ批判でカントリー業界ではボイコットされたり、ファンを失ったりしたものの、ポップ音楽界では高い評価を得ているディキシー・チックスの最近作。カントリー・アルバム部門だけでなく総合の年間最優秀アルバム部門にもノミネート、そして、シングル曲 "Not Ready to Make Nice" が総合のソング・オブ・ジ・イヤー、レコード・オブ・ジ・イヤーにノミネートされるという超話題作。

【カントリー・ボーカル・コラボレーション】

ROU-0580 RHONDA VINCENT 『All American Bluegrass Girl』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

このロンダの最新作からボビー・オズボーンとのデュエット "Midnight Angel" がカントリー・ボーカル企画にノミネートされている。

【サザン/カントリー/ブルーグラス・ゴスペル】

MCM-0003 DEL McCOURY BAND 『The Promised Land』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

ジャンルを問わない南部ゴスペル部門にデル・マッカーリー・バンド初のゴスペル集がノミネートしている。

【トラディショナル・フォーク】

COL-93629 RALPH STANLEY 『A Distant Land to Roam - Sing Songs of Carter Family』CD¥2,783-(本体¥2,650-)

いまや米国の人間国宝、ラルフ・スタンレーの最新作は、同じくリンチ・マウンテンを唄う見事なカーター・ファミリー・ソング集である。

VAN-79808 LINDA RONSTARDT & ANN SAVOY 『The Zozo Sisters; Adieu False Heart』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

リンダ・ロンシュタットがケージャンのアン・サボイをデュエット・パートナーに、アパラチアからルイジアナの情景を見事に描き出した秀作。

【コンテンポラリー・フォーク】

UNI9877385 MARK KNOPFLER & EMMYLOU HARRIS 『All the Roadrunning』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

ライブDVD+CD (UNI1708208 DVD+CD¥3,465-) も発売されているエミルー・ハリスとマーク・ノッブラーのコラボレーション。見事に年齢を重ねた超ベテラン同士の悠々たるボーカル。

第33回SPBGMA ブルーグラス・アワード

毎年、2月の第1週末にナッシュビルのシェラトン・ミュージック・シティ・ホテルで開催されるアワード・ショーのノミネーションのリストから興味深いものをピックアップしてみましょう。

SPBGMA (スビグマ=米国ブルーグラス音楽保存協会) はIBMA アワードに比べてより保守的傾向が強いようですが、南部のブルーグラス・ファンによる人気投票です。米国の南部で人気の高いバンドやプレイヤー、新鮮な切り口で楽しめる。紹介作品は、最新作、最近作を中心に、在庫お助めのアルバム。

【年間最優秀エンターテイナー】

PC-1139 NOTHIN' FANCY 『Reflections』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

ドン・リグスピー制作の『Once Upon a Road』(PC-1120 ¥2,573) でナショナル・デビューしたバージニア州の標準5人組、ナッシン・ファンシーのマイク・アンデスがノミネート。中心人物マイク・アンデス(m, lead g)のオリジナルを主体に、馴染み深い曲を数曲織り込むという構成で、チャーリー・ウォーラーをヒーローと仰ぐマイクと、パワフルなテナーのゲイリー・ファリスを核としたタイトなハーモニーと、ほどよいコンテンポラリー感を盛り込んだシュアなアンサンブルという、一貫した姿勢をしっかりと聴かせている。マイク・アンデスは、マンドリン部門、男性ボーカル(コンテンポラリー)部門でもノミネートされている。

PC-1146 MICHELLE NIXON 『What More Should I Say?』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

バージニア育ちのミシェル・ニクソンの最新第3作は自身のバンド、ドライブの若手バリバリ・ピッカーらをフィーチャーした今風ブルーグラスと、アイドルだというエミルー・ハリスの名曲カバー、マール・ハガードやスキップ・ユイングらのカバー、また、カントリースターのビル・アンダーソンとのデュエットなど、盛りだくさんな内容。最優秀バンド部門にもノミネートされており、ミシェルは女性ボーカル

部門(トラディショナル)、ドライブのメンバー、ジェレミー・ボリングがバンジョー、ジェイミー・ハーバーがマンドリン、アダム・シールがベースでそれぞれノミネート。

WCE-1002 WILLIAMS & CLARK EXPEDITION

『Born to Roam』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

熊本カントリー・ゴールドへもやってきたウィリアムズ&クラーク・イクスペディション。ビル・モンローに、最長のバンジョー奏者として仕えたブレイク・ウィリアムズがその人柄からか、エンターテイナーとしてノミネート。最高のロイド・ローアとシユアなテクニックで知られるボビー・クラーク(m)が、ウェイン・サウザーズ(g)、ブレイクの妻でもあるキンパリー・ブレイク(bs)の4人に、ティム・クラウチ(f)をゲストに迎えて創った楽しいブルーグラス作品。ジム&ジェシのストレート・ブルーグラス1曲目から、意外なアレンジの"Across the Blue Ridge..."、ハートフォード遺作からボビー作のドゥーグ等々、4人のそれぞれの持ち味を上手く引き出して、ただいま売り出し中の新バンド。

【年間最優秀エンターテイナー・グループ】

BCR-003 THE DAUGHTERS OF BLUEGRASS

『Back to the Well』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

IBMA アワードも獲得した女性ブルーグラスサーのオール・スター・キャスト作品、ドーターズ・オブ・ブルーグラス。オープニング・トラック"Go Back to the Well"が最優勝ソング、中心となってプロジェクトを引っ張ったロレイン・ジョーダンがマンドリン・プレイヤー、女性ボーカル(トラディショナル) 両部門でノミネートされている。

ブルーグラスお勧め作品

(すでに新入荷で紹介済みの作品です)

ムーンシャイナー最新1月号特集関連作品

(ブルーグラス専門月刊誌のムーンシャイナー最新1月号は¥525-。以下の作品は当月号のムーンシャイナー特集で取り上げられたものの関連作品です)

KOCH-9847 JERRY DOUGLAS 『The Best Kept Secret』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

1月号のカバーを飾ったジェリー・ダグラスの最近作。ブッシュ/フレックらとの強烈ブルーグラス

のほか、アリソン・クラウスの唄うソウル・カバーや、CCRのジョン・フォガティー、ジャズ・ギターのビル・フリーゼルらとのロック/ジャズほか、ジャンルを越えた先端音楽集。ラップスティールでのソロ"You Are My Flower"も聴きモノ。本作についてMS誌2005年11月号(MS-2301 ¥525-)特集。エリック・クラブトンも参加予定だったが、スケジュールが合わず断念したという、ジャンルを越えた快作。

SH-3797 JERRY DOUGLAS 『Slide Rules』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

ジェリーの1992年作品。アリソンやサムら、同じようなゲストながら、IBMA アワード・ショウのテーマ曲を含み、12年の歳月を感じる、こちらはよりブルーグラス。

ROU-0193 RODNEY MILLER 『Airplang』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

ROU-7018 FRANK FERREL 『Boston Fiddle』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

上記2点、アメリカン・フィドル物語で紹介したニューイングランド・フィドル・スタイルのお勧め作品。現在、在庫切れですが、お取り寄せします。

ブルーグラス

SKFR-9001 V.A. 『Celebration of Life:Musicians Against Childhood Cancer』CD 2枚組¥3,360-(本体¥3,200-)

今年のIBMA 最優秀アルバムを受賞したオールスター・キャストの子供病基金チャリティー・アルバム。今のブルーグラスを一覧することが出来るライブ37曲。セルダムシーン、ニューサウスからグラスカルズ、ロンダ・ピンセント、チェリーホームズからトニー・ライスまで総勢136人、受賞に100人以上がステージに並んだ様は壮観だった。

CCRS-7008 COUNTRY GENTLEMEN 『Folk Session Inside』CD¥2,079-(本体¥1,980-)

カントリー・ジェントルメンの最高傑作は1963年、マーキュリーから発表されたこれ。ジョン・ダッフィ(m)、チャーリー・ウォラー(g)の故人2人と、エディ・アドコック(bj)、トム・グレイ(bs)の4人が、見事なアンサンブルで「ダイナオ

ばさんのパーティー」や「ナイト・ウォーク」、
"Bluebirds Are Singin'" や "Heartaches" 等々の
名演の数々。60年代に青春した人にとってはもっ
とも印象深い作品のひとつだろう。ボーナスに
"Dark as a Dungeon" の全13曲。

**MH-1099 LONESOME RIVER BAND 『Road
with No Ends』CD¥2,888- (本体
¥2,750-)**

Lonesome Won't Get the Best of Me/Won't be Over
You/You Can't Break My Heart/New Love 他全13
曲

サミー・シーラーの安定したスリーフィンガー
のリズムに乗ってバンドが前に進む、典型的なブル
ー・リッジ系の気持ちよいブルーグラスを聴かせ
るロンサム・リバー・バンドの最新作。かつて
のコンボラ・ソリッドと呼ばれたタテ乗りのグル
ーヴから、あっさりとしたストレート・ブルー
グラスにシフト、それぞれの楽器の特性をうまく
引き出した、ロスト&ファウンドが打ち立てた、
さわやかな明朗ブルーグラスを聴かせる。ちょい
と捻ったリードギターが楽しめるシャノン・ス
ローター、ロスト&ファウンドのギター/ボーカ
ルだったバリー・ベリアー(bs)、このアルバム参
加をきっかけに正式メンバーになったマット・
レッドベターのドブプロは、失礼ながら親父フィル
よりかなり上と見た。ロン・スチュワートの文句
なしフィドルのゲストもさすが。実にバンジョー
が映える明朗ブルーグラスをお楽しみください。

**REB-1816 STEEP CANYON RANGERS 『One
Dime at a Time』CD¥2,573- (本体
¥2,450-)(歌詞付)**

Waiting to Hear You Call My Name/Ghost of
Norma Jean/Evangeline/I Can't Sit Down/Hold
On 他全12曲

トラッド・ブルーグラスの王道ノウハウを継承
しながら、若者たちの集まるジャムバンド/ジャ
ムグラス市場でも人気のスティーブ・キャニオン・
レンジャーズ、レベルからの最新第2作。デル・
マッカーリー・バンドをやめたばかりのマイク・バ
ブがプロデュース、そのストレート・ブルーグラ
ス・スピリットを叩き込んだ作品となっている。エ
ミリーの「Evangeline」も見事なトラッドグラス
に変身するほか、ウェイド・メイナー曲とタイト
ル曲の3曲以外はオリジナルだが、いずれもト
ラッドグラスの伝統を踏まえた作品だ。コロラド

のオープン・ロードと同様、ストレート・ブルー
グラスを武器にロックも含めた新しい若者のマー
ケットで奮闘する彼ら、ノース・カロライナ出身と
いう地の利を生かした若手トラッドグラス・バン
ドである。

**CMH-8983 JIMMY GAUDREAU 『In Good
Company』CD¥2,888- (本体¥2,750-)[再
入荷]**

Follow the Leader/You've Got to Hide Your Love
Away/Colleen Malane/Ain't Nobody Gonna Miss Me
When I'm Gone/Another Lonesome Morning 他全17
曲

1969年、ジョン・ダッフの後釜としてカント
リー・ジェントルメンに鮮烈なデビューを飾った
ジミー・グドロー、ソロ名義としては3枚目最新
作。その輝かしいサイドマンとしてのキャリアを
振り返るように故チャーリー・ウォーラーに捧げら
れた本作、ビル・クリフトン、トニー・ライス(な
んと歌物発掘!!)、ジョン・スターリング、キム・
フォックス(スリー・フォックス・ドライブ)、ム
ンディ・クライン(チェサピーク)、ロビン&リン
ダ・ウィリアムズ、レオン・モリス、ランディ・
ウォーラー、そしてチャーリー・ウォーラー(感動
的なバラッドだ)らのボーカル陣、ビル・エマー
ソンやベラ・フレック、マイク・オールドリッジ、サ
ミー・シーラー、エモリー・レスター、ジャック・
ローレンスらのインスト陣など、貴重なライブも含
め、ジミーのキャリアを一望する作品となっている。
1971年にCGのマンドリンの座をドイル・ロー
ソンに譲ったあと、セカンド・ジェネレーション、
カントリー・ストア(=ニュー・トラディション)、
J.D.クロウ&ニュー・サウス、スペクトラム、ト
ニー・ライス・ユニット、チェサピーク、ビル・ク
リフトン&ファースト・ジェネレーション、そして
現在はロビン&リンダとファイン・グループとジョ
ン・スターリング&カロライナ・スター……、北
部出身で、ニューグラス出現直前にブルーグラス界
に飛び込んだ若者がその後40年近く、独自のク
ールなモダニズムと脇の締まったリズムに洒落た16
分音符、そしてさわやかなクリア・テナーで、確
たる地位を築いてきた。そのさわやかな音楽と同じ、
とてもいい人だ…。

**HHH-1375 THE VIRGINIA RAMBLERS 『The
Virginia Ramblers』CD ¥2,888-(本体
¥2,750-)**

Daddy' Grave/Pleasant Hill/Movin' On/I Couldn't Find My Walking Shoes/I Am Weary, Let Me Rest/Hey, Hey, Hey/O Lord/Let's Part the Best of Friends/Sabryn Renee/Spanish Two-Step/God, Please Protect America/First Fall of Snow/Making Believe/Wind in the Pines 全14曲

70年代後半から、地元ヴァージニアや東南部一円、近年は遠くカリフォルニアまで各地のフェスに出演、多くの自主制作アルバムでそのトラッド・ブルーグラスの真髄を聴かせてくれたのが、レノ・スタイルの使い手アルヴィン・ブリーデン率いるヴァージニア・カットアップスだった。そのリーダー、アルヴィンが引退したあと残されたメンバーが、10数年にわたって構築してきたタイトなアンサンブルを継承し、装いも新たに再スタートを切ったのがヴァージニア・ランブラーズである。

70年代末から80年代初頭に2枚のアルバムを発表したのち、久しくその名はローカル・シーンに埋もれていたが、90年代に入って、チャールズ・フレイジャー(g)、ジェフ・ヴォーゲルゲサング(m)、ドニー・シフレット(bs)という編成で自分たちのフェイエット・カウンティ・レーベルで5作を発表、そのいずれもが、アルヴィンのアクの強いパンジョーと左利きジェフの抜群のマンドリンを軸に、ローカル・トラッドの真骨頂を示したアルバムとして、BU誌のレビューで「オーセンティック・スピリットを捜し求めているあなた、ここにみつけるぞ」と評されるなど、トラッド・ファンに歓迎されてきた。アルヴィンの引退後、3人は若手ザック・デミング(bj)を加えてバンドを継承、ヴァージニア・ランブラーズと名を改めた。レノ・スタイルのアルヴィンに代わったザックはオーソドックスなスクラッグス・スタイルで、若さに似合わぬ渋いリード・ヴォーカルも決めている。サンタ・クルーズ・ギターやステリング・パンジョーの工房で働いていたとのこと。若干のモデル・チェンジはあるものの、カーター・スタンレーを髣髴させるチャールズの雰囲気溢れるヴォーカル、ジム・スケルディング(f)をゲストに迎えて50年代クラシック・ブルーグラスのサウンドを現代にリクリエイトした、ホンモノのにおいがプンプンするサウンドが、カットアップス時代と変わることなくトラッド・ファンに強烈に訴えてくる。スタンレーズやカントリー・ジェントルメン、ムーア&ネイピアなどのクラシックにカントリー・ソングのカヴァーと、ローカ

ル・バンドお約束の選曲を完璧に自分たちのスタイルに仕立て上げた手並みも見事なら、グッド・オールド・デイズの味わいを再現したオリジナルも秀逸な、まさに「トラッド・ブルーグラスがからだに染みついた」ヴェテランならではのアルバムである。

RCSI-1004 DAVID PETERSON & 1946 『In the Mountaintops to Roam』 CD¥2,573- (本体¥2,450-)(歌詞付)

I'll Still Write Your Name in the Sand/Careless Love/Good Woman's Love/In Despair/Blue Birds Are Singing for Me/Red Rockin' Chair 他全14曲

「ホンモノのブルーグラスはこうあるべき!」という気概に満ちたデビッド・ピーターソン&1946の最新作。1曲目のトリプル・フィドルの旋律、パンジョー・ロール、マンドリン・ストラミング、そしてギターとベースのビート...、そのいずれもが、トラッドグラスの真髄を見事に表現する。それもそのはず、トリプル・フィドル群はパディ・スパイカー、ステュアート・ダンカン、マイケル・クリーブランド(この組み合わせは1曲目のみで、他のトリプルにはケーシー・ドリーセンとアーロン・ティルヤソロ・フィドルにはオウブリー・ヘイニー)、パンジョーにはスクラッグスも真っ青のスクラッグスト=チャーリー・クッシュマン(そのロール・コントロールはあまりに絶品、すごい!!)そしてマイク・コンプトン...、彼らが上記スタンダードを中心に、本気で演奏するんだから、誠に もって、凄い、すばらしい作品に仕上がっています。これぞ、モンロー/フラット/スクラッグスが目指したサウンド、ブルーグラスの21世紀解釈版といってもいいかな? デビッドは米国北部ボーストン出身のブルーグラス・ボーカリストだ。何よりもこのアルバムを貫くサウンド、遺暦を迎える1946年のブルーグラスへの愛に満ちている。聴くべし!!

21世紀ブルーグラス若者列伝

(ムーンシャイナー誌連載中の日米若者列伝、そんなあたらしい才能を紹介します)

AR-180 CHRIS HENRY 『Monroe Approved』 CD¥2,888- (本体¥2,750-)

凄い精神が詰まったモンロー・スタイル・マンドリン・インストの秀作!! モンローでも知られる

スタンダード"Paddy on the Turnpike"の全員の突っ込み、ジャンプインを聴けばいい!! 最近の若者ブルーグラスはクリス・シーリもそーなんだが、テクニックやアレンジではなく、ブルーグラスの持つ本来の「熱さ」に立ち帰る傾向がすばらしい。もっともテクも凄いらから目くらましを食うが、彼ら20代の若者らが何をやろうとしているのか、何か、未恐ろしいパワーと熱気が感じられる。

**ACD-61 OLD SCHOOL FREIGHT TRAIN
『Run』CD¥2,573-(本体¥2,450-)**

デビッド・グリスマンが惚れ込んだ若者たちが、ブルーグラスをしっかりと根っこに持ちつつケルトやラテンの感覚を取り入れたすばらしいアンサンブルで、刺激的な新世代のニューグラスを創る2005年作品。MS誌2005年6月号(MS-2208 ¥525-)特集。

**FGM-121 MO CANADA 『Grassoline』
CD¥2,888-(本体¥2,750-)**

トニー・ライスのプロデュースでのデビュー作『Stony Lonesome』が高校在学中に出て、日本でも話題になったモー・カナダの最新第2作。今回は、トニー・ライスとのギター・デュエット"Old Grey..."と、カントリー・ガゼットの2曲以外はモーのオリジナル。それはトラッドなブルーグラス・チューンからスペースグラスそして意表をつくようなリズムや音運びなど、南部アパラチアのど真ん中(田舎)にいるとは思えない自由な発想で曲を作っている。東テネシー州立大学同窓の、TAROやJ.P. マティス、マクレーン先生らも参加、ほかにスコット・ベスタル、ランディ・コアズ、ダレル・ウェブ、リッキー・シンプキンズほか、ブルーグラス・フラットピッキン・ギターの楽しさが詰まったアルバム。

ボックス・セット = マスト・アイテム
ドイツ、ベアーファミリー社の再々入荷。曲目リストは別途リストを参照願いたい。

**BCD-15472 LESTER FLATT & EARL
SCRUGGS 『1948-1959』4CD+16-PAGE
BOOK¥11,550(本体¥11,000)**

フラット&スクラッグス大全集第一巻。ビル・モンローのブルー・グラス・ボーイズから独立して、フォギー・マウンテン・ボーイズとしてスタートしたマーキュリー録音から、コロムビア移籍後、問

答無用の黄金期50年代の全曲集。

**BCD-15559 LESTER FLATT & EARL SCRUGGS
『1959-1963』5CD+20-PAGE BOOK¥17,325
(本体¥16,500)**

フラット&スクラッグス大全集第二巻。フォーク・リヴァイヴアルの波に乗って都会進出を果たし、「じゃじゃ馬億万長者」のテーマで頂点を極めた60年代初頭の全曲集。[CD-5]にカーネギー・ホール・コンサートのコンプリート・ヴァージョン収録。

**BCD-15716 JIM & JESSE 『Bluegrass And
More』5CD+32-PAGE BOOK¥17,325(本体
¥16,500)**

ジム&ジェシー、コロムビア&エピック全曲集。アレン・シェルトン、ポビー・トンプソン、ヴァッサー・クレメンツ等を擁したソリッド・ブルーグラスから、ベイカーズフィールド・サウンドに傾斜したカントリー、そして盟友ルーヴィン・ブラザーズ集まで。

**BCD-16399 BILL MONROE 『Blue Moon of
Kentucky 1936-1949』6CD+88-PAGE
BOOK¥25,988(本体¥24,750)**

ビル・モンローの最も初期のレコーディング全曲集。モンロー・ブラザーズの全曲と、ブルー・グラス・ボーイズのヴィクター録音、コロムビア録音のすべて、さらに、コロムビアの現存するすべてのアウト・テイクを収録。さらにさらに、これまでその存在すら知られていなかったコロムビア録音の、これぞ本当の幻のレコーディング"I'll Have A New Life"という、世紀の大発見も!!

**BCD-15529 BILL MONROE 『Blue Grass
1959-1969』4CD+28-PAGE BOOK¥11,550
(本体¥11,000)**

ビル・モンロー60年代全曲集。フォーク・ブームを背景に、都会生まれの若者をメンバーに加えることで、モンロー自身が変化していった姿をとりえている。

**BCD-15606 BILL MONROE 『Blue Grass
1970-1979』4CD+32-PAGE BOOK¥14,438
(本体¥13,750)**

ビル・モンロー70年代全曲集。ケニー・ベイカーとのコンビネーションを軸に、円熟から枯淡の境地へと深化している。

BCD-16624 BILL MONROE 『Far Across the Blue Water...Bill Monroe in Germany(1975 & 1989)』4CD+1DVD(93分)+52-PAGE BOOK¥20,213(本体¥19,250)

ビル・モンロー&ブルー・グラス・ボーイズのライブ音源、それもドイツでのものが発掘された。しかも映像付きで、これをニュースといわずしてなんとする。今回発掘されたのは75年5月と89年7月のライブ。モンロー自身は69年にもドイツへのツアーを経験しているが、そのときは米軍基地での演奏だけで一般のファンの前ではなかったという。75年のヨーロッパ・ツアーは当時イギリスに住んでいたビル・クリフトンが仲介、行を共にしたもので、そのツアーの最後に出演したノイスエデンデのフェスでの45分2セット。ケニー・ベイカー(f)、ラルフ・ルイス(g)、ボブ・ブラック(bj)、ランディ・デイヴィス(bs)という、その前年初めて日本に来たときと同じメンバーで、初めてモンローの姿を目にし演奏を耳にした、その興奮を思い出させてくれるもの。強烈なパワー、エネルギーを発散するモンローはもちろん、心技体いずれも絶頂期、冴えに冴え渡るベイカーを軸としたブルー・グラス・ボーイズに脱帽。89年のほうは、オズボーン・ブラザーズを帯同したツアーから、ストレーケンモアでの45分2セット。年齢から来る衰えは否めないが、それを克服するエネルギーを全編に感じさせるとともに、精神的にはどんどんと深みを増していったモンローを、トム・ユイング(g)、テイター・テイト(f)、ブレイク・ウィリアムズ(bj)、ピリー・ローズ(bs)という布陣でサポートしている。そして、この90分の演奏を収録したDVD、1台の据えつけカメラだけで撮ったアマチュア・レベルの映像とはいえ、モンローのライブをコンプリートに収録した映像としてはいまのところ唯一のものであり、貴重この上ないお宝であることは間違いあるまい。ライブ・フォト、ヨーロッパ・ツアーのパンフレットのリプリントなど、リズ・マイヤーほかのエッセイなど満載、52ページブックレットつき、さすがベア・ファミリーのお仕事。

BCD-15598 THE OSBORNE BROTHERS 『1956-1968』4CD+24-PAGE BOOK¥14,438(本体¥13,750)

オズボーン・ブラザーズMGM/デッカ前半の

全曲集。レッド・アレンとのトラッド色から、さまざまな試みを経てのエレクトリック・ブルーグラスまで、常に革新的であり続けたその姿勢が見事だ。

BCD-15748 THE OSBORNE BROTHERS 『1968-1974』4CD+24-PAGE BOOK¥14,438(本体¥13,750)

オズボーン・ブラザーズ、デッカ後半(MCA)の全曲集。ヒット曲を連発し、カントリー・スターの座を確立しながらも尖がり続けた、新しさに満ちたサウンドが凄い。

ブルーグラス・カラオケ

CMH-2202 BLUEGRASS KARAOKE 『All-Time Bluegrass Classics』CD+G¥2,079-(本体¥1,980-)(歌詞付)

Roll in My Sweet Baby's Arms/Man of Constant Sorrow/Sitting on Top of the World/Wabash Cannonball/Will the Circle Be Unbroken/Wildwood Flower/Don't Let Your Deal Go Down/John Henry.

ブルーグラス・スタンダード有名8曲のカラオケ盤。バックは最高に上手い。ティム・クロウチ(f,m,g)とランディ・コーアズ(d,v)、そして何故かチェット・アトキンスのパートナーとして知られるポール・ヤンデル(autoharp,g)は本名のようなだが、この超一級バンジョー・トーンとタイミング、ラリー・リチャードソンは変名に違いない(DTやCCレベルゆがな...?)。...と にかく、超一級のバックで上記8曲を歌いませんか?キッチリとテナーやバリトンのコーラスまで付けてくれます(カーター・ファミリーものでは女性ハーモニーだよ)。もちろん、歌だけじゃなく楽器を弾いてもOK、その上、典型的なバックアップのやり方まで学べるというもの。また、この8曲のボーカル入り、完成版も収められた全16トラック。使いようによればメチャ値打ちの出る代物だ。

CMH-2211 BLUEGRASS GOSPEL KARAOKE CD+G¥2,079-(本体¥1,980-)(歌詞付)

Amazing Grace/Will the Circle Be Unbroken/Down to the River to Pray/Angel Band/Standing in the Need of Prayer/Rock of Ages/Wayfaring Stranger/Walk in Jerusalem.

上記ブルーグラス・ゴスペル・スタンダード有名8曲のカラオケ盤。ランディ・コーアズ(d,v)とジョニー・ハイランド(g)以外は偽名、バックは上手い(このバンジョー、タルボットじゃないか

な?)。カラオケと歌入りで全16トラックで、女声向けあり。

ピッキン・オン・カバー・シリーズ

ヒット便乗カバー集ながら超一級ブルーグラス・サイドマンたちが、ときには名を秘して参加する「ピッキン・オン」シリーズ、凄いのがあるぞ!!

CMH-9092 V.A. 『Pickin' on Nickel Creek』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

Lighthouse Tale/When in Rome/Helena/Sabra Girl/Ode to a Butterfly/House Carpenter 他全11曲

本作はカバー相手がブルーグラス仲間なのも面白いが、まずはメンバー、偽名を使っているがマンドリンはマイク・コンプトン、フィドルに天才シャド・コップ、ギターは特長を隠しているのか不明、バンジョーはネッド・ルベレッキ、そしてベースは本物のニッケル・クリークのマーク・シャッツではないだろうか...、と思っている。とにかく、彼らがクリス・シーリのオリジナルを中心にカバーするのだが、さすがお仲間というか、こうして聴くとニッケル・クリークはやっぱりブルーグラス・バンドだと思ってしまう納得のメロディーがつづく。

CMH-9086 V.A. 『Pickin' on Jeff Bates; a Bluegrass Tribute』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

新進カントリー・シンガー、ジェフ・ベイツのヒット曲カバー集。メンバーはステュアート・ダンカン、マイク・コンプトン、キース・ソウエル(サム・ブッシュ・バンドのギター)、ネッド・ルベレッキ(ポール・アドキンス他のバンジョー)、デビッド・ジャックス(エイドリアン・ヤングのベース)。設定されたメロディーをどう探るか、そんな見方で面白さ値打ち倍増だ。

CMH-8537 V.A. 『Pickin' on the Rolling Stones』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

ローリング・ストーンズ名曲をカバーするのはナッシュビルとL.A.のミュージシャンたち、リチャード・ベイリー、デビッド・タルボット、デニス・キャップリンガー、ハーブ・ピーダーソン(bj)、ブレント・トリット、ケニー・ブラックウェル(m)、ロブ・アイクス(d)、ゲイブ・ウィッチャー、ティム・クロウチ(f)、デニス・クロウチ(bs)。L.A.セッションには何と、ショーン&サラ・ワトキンス兄妹

まで参加しているよ。

CMH-9090 V.A. 『Strummin' with the Devil; Southern Side of Van Halen, featuring David Lee Roth』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

ロック史に残るヴァン・ヘーレンのリード・ボーカリスト、デビッド・リー・ロスがブルーグラスする!!この夏アメリカのメディアで大評判の話題作。彼がジョン・ジョーゲンソン・バンド(ステュアート・ダンカン、スコット・ベスタル、ロブ・アイクス、ブラッド・デビス)とテナーにジョン・コーワンをバックに唄う"Jump"と"Jamie's Cryin'"の2曲を唄うほか、ブルー・ハイウェイ、JCB、マウンテン・ハート、ラリー・コードル&ロンサム・スタンダード・タイム、ナッシュビル・ブルーグラス・バンドらがヴァン・ヘーレン曲に挑む。

各楽器別インストお勧め再入荷作品

(楽器につきましては、楽器本体やパーツから教則物まで、各種取り扱っています。お気軽にお問い合わせください)

ギター

PH-1032 LEW LONDON 『Swingtime in Springtime』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

1976年に発表されたルウ・ロンドンの優雅なアコースティック・スウィング名盤がラウンダー・アーカイブとして、1977年のフィラデルフィア・フォーク・フェスでのライブ"Glory of Love"を含む9曲のボーナス・トラックを加えてCD化である。(限定ラウンダー・アーカイブ・シリーズにつき、ライナーノーツ入要の方はお申し出ください)

DREAD-0201 DAVID GRIER 『I've Got the House to Myself』CD¥2,888-(本体¥2,750-)

デビッド・グリアの02年自費制作盤。"Turkey in the Straw"や"Black Mountain Rag"他、超有名スタンダードを中心に、ギター1本のソロで聴かせる素晴らしいフラットピッキン・ギター世界。ジャンルを超えて、ギター・ファン必聴!!

バンジョー

(ムーンシャイナードのチチ松村「バンジョー祭り」、現在デブ・タルボットとレコキンのバン

ジョー談義お見逃しなく!!)

CCS-100 LESTER FLATT & EARL SCRUGGS
『Foggy Mountain Banjo』CD¥2,573-(本
体¥2,450-)

Ground Speed/Home Sweet Home/Sally Ann/Little Darlin' Pal of Mine/Reuben/Cripple Creek/Lonesome Road Blues/John Henry/Fire Ball Mail/Sally Goodwin/Bugle Call Rag/Cumberland Gap.

一般に、いわゆる、ブルーグラス・バンジョーのバイブルとされているアルバム。ま、「バンジョーを志す人は必ず持ってなければならぬ」と言われているアール・スクラッグスの名演である。ただし、ドイツから発売されているフラット&スクラッグス全集があるので、スクラッグス・コレクションを目指す方はその全集をお勧めしている。

RRR-0001 ALAN MUNDE 『Banjo Sandwich』
CD¥2,573-(本体¥2,450-)

偉大なバンジョー奏者、アラン・マンデが1975年に発表したバンジョー名盤が初完全CD化。カントリー・ガゼットの大名盤『Traitor in Our Midst/Don't Give Up Your Day Job』(BG0CD-298 ¥2,888-)で花開いたスタイルは、完璧なメロディック・スタイルを作り上げた。当時のガゼット、ローランド・ホワイト(m)、デブ・ファーガソン(f)、ロジャー・ブッシュ(bs)に、ゲストのドック・ハミルトン(g)がバックアップ。ステリング・サウンドとともに、現在にいたるフレキシブルなバンジョー奏法の基礎になった名盤である。

HUB-2005 V.A. 『Huber Banjos Sessions
Vol.2, Cuppa 'Jo』CD¥2,888-(本体
¥2,750-)

話題のヒューバー・バンジョーをエンドースする一流ピッカーがつぎつぎと、バンジョー・スタンダード曲でそれぞれのヒューバー・トーンを聴かせてくれる。その上、バックも凄い!! 出演は、ジム・ミルズ(ケンタッキー・サンダー)、グレイグ・ケイヒル(スペシャル・コンセンサス)、ステーブ・ディリング(サード・タイム・アウト)、ジェyson・パールソン(ブルー・ハイウェイ)、ジェyson・デイビス(ミシェル・ニクソン&ドライブ)、ジョーイ・コックス(ブルー・リッジ)、そしてシア・チェリーホームズ(チェリーホームズ)。現在第一線のバンジョイストたちが各2曲ずつ、プリ・ウォー・ギブソン・フラットヘッドのトーン再現を

目指すヒューバー・バンジョーを弾く。

マンドリン
FF-042 JETHRO BURNS CD¥2,573-(本
体¥2,450-)

1977年、ジェスロ・バーンズがソロ・マンドリニストとして初めて発表したインスト作品。バッサー・クレメンツ(f)、マイク・ドウリン(g)、ボブ・ホーバン(piano)、ジョニー・バーンズ(eg)らをバックに、スタンダード、スウィング、フィドル・チューンなど、ジェスロらしいフレー징ングが随所に収められた記念碑的作品である。(ラウンダー・アーカイブ・シリーズにつき、ライナーノーツをご希望の方はお申し付けください)

ACD-66 DAVID GRISMAN QUINTET 『Dawg's
Groove』CD¥2,573-(本体¥2,450-)

結成30周年を迎えたデビッド・グリスマン・クインテットの最新作は、衰えないグリスマンのオリジナル・サウンドを紡ぎつづける。長年不動のメンバーだったが、オ人ジョー・クレヴンが抜け、そのあとをジョージ・マーシュ(drums)が埋めたほか、ジム・カーウィン(bs)、エンリケ・コリア(g)、マット・イーグル(flute)のクインテット。ブルーグラスとジャズとラテンを融合した独創的なドッグ音楽で、現在なおアコースティック音楽界の頂点に君臨するデビッド・グリスマン、その類まれなメロディーと見事なアンサンブルを堪能できる。

フィドル
(ムーンシャイナー誌2005年5月号から「アメリカン・フィドル物語」連載中!!)
ROU-0215 JAMES BRYAN 『The First of
May』CD-R¥2,573-(本体¥2,450-)

70年代にケニー・ベイカーのブルーグラス・フィドルを究めたのち、80年代にはノーマン・ブレイクとともにオールドタイム・フィドル・チューンの探求に没頭したジェイムズ・ブライアン、1986年発表のソロ第2弾。ジグやリール、ホーンパイプやボルカなど、アメリカに渡ったフィドル・チューンがいかにか伝えられてきたか、その真摯な態度が感じられる上質なフィドル作品である。(限定ラウンダー・アーカイブ・シリーズにつき、ライナーノーツ入要の方はお申し出ください)

ドブロ

AC-02 STACY PHILLIPS 『From the Inside』 CD¥2,573-(本体¥2,450-) (再生産新入荷) (価格改訂)

Moana Loa/Wild Horse/Golden Wedding Days/Kenyan Tune/Bucktime/Absalom, My Son 他全14曲

ニューヨーク・ブルーグラスのカントリー・クッキング派として活躍したステイシー・フィリップス(数々のフィドル教本でも知られる)のソロ・ドブロ作品が最生産新入荷した。トニー・トリシュカ(bj)、ケニー・コセック(f)、ジョン・ショール(g)、バリー・ミターホフ(m)、ジム・ウィットニー(bs)ら、当時からの仲間の応援を得ての、ステイシーらしい複雑で味わい深いブルーグラス・ドブロを聴かせる他、ハワイアン、ジョンとのスウィング、ゴスペル、アフリカン、クレズマー、ミュゼット等々、様々な音楽の中でドブロる。ナッシュビル・ミュージシャンの様に完璧を目指すのではなく、あくまでも民俗音楽の原点である「衝動」を聴かせてくれるステイシー、僕は大好きだ。もちろん、ドブロ・ファンには強力お勧めだ。

オールドタイム&フォーク新入荷

RS-7788 赤木一孝 『からっぽの部屋』 CD¥3,000-(本体¥2,857-)

坂道の町/雨の夜はひとりで/月の庭(Down by the Sally Garden)/お父さんの朝ごはん/風が痛い/秋の海へ(There Ain't No Ash Will Burn) 他全10曲

「あかべえ」こと、赤木一孝のデビュー・ソロ・アルバムである。デル・マッカーレーをアイドルとするベテラン・ブルーグラスサーであるが、ここではシンガー/ソングライターとして10曲中8曲の作曲(作詞は伴侶である佐々木由紀)を手がけ、ポップなアレンジで、軽やかなテナー・ボイスとブルーグラス/ジャズを極めたギターが、瀬戸内海を望む神戸の陽光を感じさせるといった感じのさわやかなアコースティック作品に仕上げている。ボサノバ調の洒落たサウンドにもブルーグラス出身らしい突っ込みリードギターが楽しいし、ゲストのアンドレ佐藤のドブロはさすがの出来、ファンキーなエイトビートからケージャンを思わせるサウンドなど、音楽の幅広さはさすがルーツ音楽マニアだ。佐々木由紀の詩は日常の風景から、みずみずしい感性で言葉を切り取り、ユーモアとロマ

ンが絶妙に配されている。2曲、アイリッシュ名曲とジョー・ミラー(ランチ・ロマンス)で知られるウォルト・オールドリッジ曲の詩も見事である。1970年代からブルーグラスとジャズを武器に、音楽で生活してきた赤木(ムーンシャイナー2月号で特集を予定)、待望のデビュー作だ。

ROU-3265 NANJI GRIFFITH 『Ruby's Torch』 ¥2,573-(本体¥2,450-)

いつまでも清楚な雰囲気漂わせるシンガー/ソングライター、ナンシ・グリフィスの最新作は、ファンから要望が多かったというトーチ・ソング(センチメンタルなラブソング)集。クリスタル・ゲイルで知られる1曲目"When I Dream"から、トム・ウェイツのタイトル曲、ランディ・グッドラム"Bluer Than Blue"など、年輪を重ねた説得力のある歌声は、トーチソングといえども女々しくなく、自立した女性の強さを、自身のバンド、ブルーグラス・ムーン・オーケストラにストリングスを従えながら唄いきる。

ROU-0008 LEDFORD STRING BAND ¥2,573-(本体¥2,450-)

Brown's Dream/Little Maggie/Georgia Railroad/Shanghai Rooster/Picture on the Wall 他全18曲

ラウンダー・レコード初期の1972年に発表されたストリングバンド秀作がアーカイブ・シリーズとして初CD化である。1929年に"Little Maggie"を初めて録音したカロライナ・ランブラーズ・ストリングバンドとしてSP盤やラジオで活躍した1906年生まれのフィドラー、スティーブ・レッドフォードが弟のウェインと親戚ジェームズ・ガードナーとともに組んだトリオ。ストリングバンドが南部アパラチアで、レコード/ラジオ時代を迎えたときにフツーに演じられていたそんな姿が自然に収められた秀作。(限定ラウンダー・アーカイブ・シリーズにつき、ライナーノーツ入要の方はお申し出ください)

オールドタイム&フォークお勧め作品

SF-40160 V.A. 『Friends of Old Time Music』 CD 3枚組¥5,670-(本体¥5,400-)

1961年から65年のフォーク・リバイバルの真っ只中、ニューヨークの若者たちが「ホンモノ」の南部音楽に接するチャンスを提供した同好会、「オー

ルドタイム音楽友の会...!?」が主宰したコンサートの貴重なライブ全55曲(内未発表53曲)と60頁の冊子がついた超すばらしいボックスセット。ビル・モンロー、メイベル・カーター、スタンレーズらのエスタブリッシュされたアーティスト、ドック・ボッグス、ロスコ・ホルコム、クラレンス・アッシュレーらの発掘されたオールドタイマー、ミシシッピ・ジョン・ハート、ジョセフ・スペンス、ジェシー・フラワーらの貴重なブルース/ギタリスト、ドック・ワトソン、ニュー・ロスト・シティ・ランブラーズ、グリーンブライアー・ボーイズらの若手新人たち等々、このときのニューヨークが、現在に至るまでのルーツ系音楽のすべての基礎となっている。

カントリー新入荷

HR-11243 RED KNUCKLES & the TRAILBLAZERS 『Honky Tonk Swing Music』
CD¥2,888-(本体¥2,750-)

Pistol Packin' Mama/Deep Water/Peach Pickin' Time in Georgia/Mom and Dad's Waltz 他全12曲

ティム・オブライエン扮するレッド・ナックルズがド田舎のバーで知り合った時代遅れのウエスタン野郎たちと組んだバンド、という設定のトレイルブレイザーズの1984年の、エスプリの効いたフランスならではの制作の、きわめて貴重なスタジオ録音作品が初CD化である。ハンク、レフティ、アーネストら、抜群の選曲とすばらしいティムのボーカル、そして、もちろん、ご存知のようにホット・ライズというブルーグラスを表芸に、抜群のコメディ・ルティーンで1980年代に絶賛されたトレイルブレイザーズは、とぼけたウォルド(ビート・ワーニック)のラップ・スティール・ギター、ウェンデル(ニック・フォスター)の趣味よくスウィングするエレキギター、決してニコリともしないスレイド(チャールズ・ソウテル)、そしてお約束のエルモ(サム・ブッシュ)もゲストに登場、50年代カントリー&ウエスタンの名曲を次々と、抜群のクラシック感性で演じる秀作である。ティム・ファンにはもちろん、50年代のアメリカンを感じていただきたいし、カントリー・ファンの皆さんにはブルーグラスの一級ミュージシャンのセンスを存分に楽しんでいただきたい。ホット・ライズのDVD作品『Recorded Live! July 28, 1987』(RCSI-1008D ¥3,465-) (57分)でもゲスト出演しているので、そちらもお見逃しなく!! 隠しボーナスとして "In the Jailhouse Now"

もお忘れなく。

BPCB-0054 COSMOPOLITAN COWBOYS 『世界で一度も咲かない花』 CD¥2,625-(**本体¥2,500-**)

I Saw the Light (奇跡のヒト) / 泣きたいほどの淋しさだ / South of the Boder (国境の南) / ケンタッキー帰り / Hey Good Lookin' (いかしたクッキー) / Zangiri Rock / 思い出のグリーングラス 他全13曲

発想とサウンドが衝撃的におもしろいコスモポリタン・カウボーイズのデビュー・アルバム。自称して曰く、「極東=場末のヒルビリーたちが奏でるカントリー&ナポリタン、J-カントリーの誕生か!？」というコピーが見事な、グラム・パーソンズ没後33年を記念して?? 創られた日本語カントリー・ロックだ。ハンク・ウィリアムズにチャック・ベリーと同様の衝撃を受けたというハル宮沢の、賛否は分かれるだろうインパクトある詩とボーカル(わたしはめっちゃセンスがいいと思う)、パバ藤原のパンジョーとフィドルが縦横に活躍(彼は高校時代から宝塚フェスを支えたスタッフ)、津軽三味線が本職というグラシャス坂井のギターとマンドリンがラテン系の雰囲気醸し出し、ジェフ蔵方のウッドベース、そして紅一点の東野りえのドラムスが場末のホンキートンクを思わせるビートを叩く。カウパングの乗りを60~70年代のカントリーロックに載せ、まったく新しい若者の音楽を創っている。ハンクとチャックといえは元祖はビル・モンロー...、なかなかいい勘を持った若者たち、応援したい。

映像ものお勧め作品

RCSI-1008D CLASSIC HOT RIZE with RED KNUCKLES & TRAILBLAZERS
『Recorded Live! July 28, 1987』
DVD¥3,465-(本体¥3,300-、57分)

お勧めのブルーグラスとカントリー&ウエスタン・ショウの楽しいライブDVD映像だ。80年代のネオ・トラッドグラスをリードしたホット・ライズの全盛時代、結成から10年を迎えた1987年のケンタッキー芸術センターでの彼らと、その変身ウエスタン・バンド、トレイルブレイザーズの楽しいショウ。オリジナルなトラッド・ブルーグラス・アンサンブルと、みんなが大好きなクラシッ

ク・カントリーを両方楽しめる、超お徳用DVD!!
MEG2-50775 EARL SCRUGGS 『His Family and Friends』DVD+CD¥3,255-(本体¥3,100-)

衝撃的なボブ・ディランとのアットホームなジャムではじまる1971年の幻のフィルムがついに陽の目を見た。次から次へと、スクラッグス・ファンにはたまらない「お宝」映像集。もちろん、ドック・ワトソン、モリス・ブラザーズ、そしてビル・モンローやジョーン・バエズも登場!! 当時、47オのアー・スクラッグス、偉大なミュージシャンである。

SHA-212D DAVID GREISMAN QUARTET 『Classic Dawg』DVD¥3,675-(本体¥3,500-)(カラー、58分)

Cedar Hill/Dawg Funk/Minor Swing/Janice/Opus 38/Solo Base/Gator's Dream/Dawg Grass/Blue Midnight/Dawgology/Gypsy Medley/Dawg Jazz. 全12曲

1976年5月、衝撃的な来日と共に世界中のブルーグラス/アコースティック界にまったく新しい価値観と可能性を持ち込んだデビッド・グリスマン。すでにジャズ界でも高い評価を受けていた1983年、モンリオール・ジャズ・フェスに登場したデビッド・グリスマン・カルテットの貴重なライブ映像。ダロル・アンガー(f)、マイク・マーシャル(g)、ロブ・ワッサーマン(bs)を率いて次々と完璧な初期ドゥーグ音楽を聴かせる。

HHH-1376D THE BLUEGRASS BROTHERS 『Live in Myrtle Beach』DVD¥3,308-(本体¥3,150)

Train 45/Wait a Minute/Duelling Banjos/Rawhide/Tennessee/Doin' My Time/He Will Set Your Fields on Fire/Grandfather's Clock/Hickory Wind 他全20曲

あるとき、関東を代表する某ボーカリストが車から電話してきて、「これ唄ってるの誰?」。フツは近年、山ほどあるバンドのボーカリストなど、すぐには分からないのだが、ケータイから流れてくる声、これはすぐに分かった。なぜか心に引っかかるテナー・ボイスの持ち主ピクチャー・ダウディ(bs)、「ブルーグラス・ブラザーズだよ」と、ちょっと鼻高々に答えてやった。トラッドな発想でセルダム・シーンしたいバンドだ。そんな彼らのDVDが発表された。ピクチャーの弟口パート(bj)とス

ティーブン(g)、息子ドナルド(g)に、新加入の若手ブランドン・ファーリー(m)、見るからにローカル=田舎のあんちゃんたちといった風体、受ける=お客さんを喜ばせるために一生懸命の演奏、決して個々のテクニク的にもアンサンブルとしても巧くないのだが、ステージに出るといふことの意味をきっちり意識して(プロ/アマ、有名/無名、上手/下手、ギャラの有無や多少とは関係なく)、お客さんに向かって自分の持てる何かを伝えようとする、それがライブの究極なのだ...よね。ムーンシャイナードで連載中のIBMAのショウケースで見るとさまざまなバンドたち、そして宝塚フェスに毎年登場する100バンド、どのバンドにも何かがある。それをどう伝えるか、ステージ上での意識の問題なのだ。映像作品として、プロダクション自体もローカルな作品だが、ブルーグラス・ブラザーズの一生懸命を見てそんなことを思った。

UNI1708208 MARK KNOPFLER & EMMYLOU HARRIS 『Real Live Roadrunning』DVD+CD¥3,465-(本体¥3,300、DVD=158分、CD=75分)

エミルー・ハリスとマーク・ノップレーが昨春リリースしたデュエット・アルバム『All the Roadrunning』(UNI9877385¥2,573-)のプロモーションとして行ったツアーから、6月28日ロス・アンジェルスでギブソン・アンフィシアターでのライブをコンプリートに収録したDVDと、若干内容の異なるライブCDのスペシャル・ヴァージョン。鉄壁の布陣でカントリーをベースにした絶妙のアコースティック・アンサンブルを演出し、ふたりのデュエット、ソロ、それぞれの大人の味わいに満ちたヴォーカルと相俟って、圧倒的な存在感をみせる。2時間半以上にも及ぶ長丁場を決して飽きさせることなく引っ張っていくエンターテイナーぶりに脱帽。ありそうでなかったエミルーのライブ映像ということでも、期待を裏切らない見事な作品となっている。(宇野誠之)

MB-20064D TOMMY EMMANUEL 『Live at Sheldon Concert Hall』DVD¥6,510-(本体¥6,200-、1時間54分)

チェット・アトキンスの後継者とまでいわれるトミー・エマニエル、かつて発売されていたビデオ2本分がDVD1枚で再発売。オーストラリア出身でチェットに見初められて米国でビュー、一躍トップ・アーティストとなった彼、フィンガーピッ

キン・ギターの最良の部分と同時にエンターテイメントも充実、メチャクチャ楽しませてくれる秀作である。

PEARL6001D GARTH BROOKS 『The Entertainer』DVD 5枚組¥6,300-(本体¥6,000-)

90年代アメリカの社会現象ともなったカントリー界のメガ・スター、ガス・ブルックス。アメリカのメガ・チェーン、ウォールマートとのコラボレーションの第3弾となる今回はなんと、5枚組のDVDボックス、全7時間を超える映像がこれでもか、と収録された超大作。絶頂期97年のニュー・ヨークはセントラル・パークでのフリー・コンサート(ピリー・ジョエルがゲスト出演)に120万人の観客を動員したという、その凄まじいまでのパワー、エネルギー充滿のパフォーマンスに、ただただ圧倒されるのみである。ウォールマートの店舗及びサイトのみでの独占販売、メール・オーダーも外国向けの出荷はなしという限定盤につき、売り切れご免。(宇野誠之)

ART-12324D V.A. 『Down From The Mountain』ART-12225 DVD¥3,465-(本体¥3,300-、約100分) リジョンコード 1

映画『オー・ブラザー!』のサントラに参加したアーティストたちが、2000年5月、ナッシュヴィルのライマン公会堂で開催されたベネフィット・コンサートに結集、このDVDは、そのコンサートの模様を中心に、ドキュメンタリー作家D.A. ベネベイカーが制作した映画のビデオ化。前半に出演者のインタビューを克明に収録、中盤以降は、故ジョン・ハートフォードの司会で進行するあったかいコンサートの模様が見事に描き出されている。主な出演者は、ラルフ・スタンレー、エミルー・ハリス、ギリアン・ウェルチ&デヴィッド・ローリングス、アリソン・クラウド+ユニオン・ステーション、コックス・ファミリー、ザ・ホワイツなど、夫々に素晴らしいパフォーマンスが楽しめるが、とりわけ、ギリアン・ウェルチ、そしてコックス・ファミリーが感動もの。マイク・コンプトンとクリス・シャープがハウス・バンドで全編大活躍している。一部は、この映画のサントラ盤CD(UNI-17022)でも聴けるが、サントラ未収録分も多数含まれる。VHS版(別途取り寄せ)もある。ただしこのDVDはリジョン1のため一般のDVDプレイヤーでは見ること

が出来ない。(宇野誠之)

教則もの新入荷

FGM-11.1 Flatpicking Guitar Magazine 『Nov./Dec. 2006』 CD+Book¥2,625-(本体¥2,500-)

CD付きの隔月刊誌の最新号はダレル・スコットのカバーストーリー、ソングライターとして数々のヒット曲を持つほか、サム・ブッシュやティム・オブライエンらとのバンド活動で知られるマルチ・プレイヤー、そのほか、ブリードラブ・ギター、ローリー・ルイス・バンドのスコット・ハフマンらの特集。タブ譜は、"Blackberry Blossom"、"Blue Bell"、"Guitar Boogie"、クロスピッキングで弾く"You Are My Sunshine"、"Kentucky Waltz"のユニークなコードパターンほか、CDの音源とともにさまざまなギター・テクが学べる、フラットピッキング・タブ満載の80頁。

なお、バックナンバーはお問い合わせ下さい。

DDTRI-CB21 TONY TRISCHKA 『Classic Bluegrass Banjo Solos』 DVD+Tab¥5,040-(本体¥4,800-、60分)

John Henry(E. Scruggs)/Sittin' on Top of the World(A. Shelton)/Gold Rush(Vic Jordan)/Bye Bye Blues(A. Shelton)/Dixie Breakdown(Don Reno)/Old Home Place(J.D.Crowe)/Salt Creek(B. Keith)Casey Jones(B. Thompson)/Clinch Mountain Backstep(R. Stanley)/Little Maggie(B. Emerson)/Doug(s Tune(D. Dikillard).

バンジョー伝道師、トニー・トリシュカが上記有名11曲を、上記有名プレイヤーのスタイルで教えてくれる、実においしい企画物。初級上から中級者の皆さん、5弦ブルーグラス・バンジョー・スタイリストを一網打尽に、いかがですか?

DVDRONMN21 RONNIE MCCOURY 『Bluegrass Mandolin』DVD+Tab¥5,040-(本体¥4,800-、80分)

いまやブルーグラス・マンドリンのトップランナーとなったロニー・マッカーリー、ビル・モンローの「ダウン・ストローク奏法」"Bluegrass Twist"を皮切りに、モンローの影響の濃い自作インスト曲"Glen Rock"、"Quicksburg Rendezvous"、"Baltimore Johnny"やブルーグラス・スタンダードになったデル・マッカーリーのハイロンサム曲

"High on a Mountain"や"How Long Blues"、カン
トリー風味の"Don't Stop the Music"などのすば
らしい間奏、そしてあの"Rawhide"まで、ブルー
グラス・マンドリンのさまざまなテクニックを教え
てくれる中級者向き。

**DVDDOUB21 JERRY DOUGLAS 『Dobro
Techniques』DVD+Tab¥5,040- (本体
¥4,800-、90分)**

Fireball Mail/Cincinnati Rag/Banks of the Ohio.

1989年に発表されたジェリー・ダグラス、究極
のドブロ・テクニック教則ビデオがDVD化である。
以上3曲だけだが、それだけ丁寧に教えてくれる
のでドブロ初心者からでも十分にフォローできる。
左手には鉄の棒が一本だけというドブロ、はつき
り言ってテクニック的には右手に集中すればいい
わけで、組みし易いかも知れない。ただし、真髄は
左のバーのインパクトにあるのだが...、まあ、やり
はじめはバンジョー経験者には取っ付き易いぞ。
最近関西でもドブロ愛好会が活躍しているようだ
し、はじめてみてはいかがですか？

**DVDOSBBJ21 SONNY OSBORNE 『Bluegrass
Banjo』DVD+Tab¥5,040- (本体¥4,800-、
90分)**

Danny Boy/El Randa/America the Beautiful/I'll
Never Shed Another Tear/Pain in My Heart/Me
and My Banjo/Six White Horses/Dandylion/One
Tear/Tennessee Hound Dog/Sunny Mountain Chimes/
Eight More Miles to Louisville/I'll Never Love
Another/Rocky Top.

中級者上から上級者向き、泣く子も黙るバン
ジョー大家、ソニー・オズボーンの1995年作教則
ビデオがDVD化である。ビル・エバンスを相手に、
ソニーの秘密のすべてが明らかにされる。...と
いっても本人、ぜんぜん分かっていないところが
凄い。ただ耳で聴き覚えた音を、どうしてこんなに
繊細に、しかも本人も分かっていない音楽理論に
当てはまるのか...、やっぱ天才的ステイリストと
しか言いようがないソニー、心して見られよ!! 何
度も言うけど、いくら音を覚えて真似ても、心がこ
もってなければ意味がない。その心は、謙虚さと
尊敬から生まれる。画面の奥の奥をよく見てく
ださい。1935年のプリウォー・ギブソン・グラナ
ダも拝むに足る。

教則ものお勧め

**FGM-2242 BRAD DAVIS 『Flatpicking
the Blues』DVD/CD/Book¥5,355- (本体
¥5,100-)**

「ブルーグラス・ギターでいかにブルースする
か」というのがこのDVD / 教則本 / CDの目的とい
うブラッド・デイビスの教則セット。いかなるアメ
リカン・ルーツ系音楽を演じるときも、避けて通る
ことができないブルースやブルー・ノートについ
て、ジャズ視点ではなくブルーグラスやフォーク
の視点での丁寧な教則物である。ブルースの基本
スケールから12小節の基本リズム(ブルース・
シャッフル)、そして、ロバート・ジョンソン、エ
リック・クラプトン、スティービー・レイ・ヴォ
ーン、そしてビル・モンローらのさまざまなスタイル
のインプロビゼーションへと進む。あたらしい発
想を望むブルーグラスやフォークのフラットピ
ッキン中級者向きである。

**RRR-WB1 Bluegrass Word Book #1
50page-Book¥1,575- (本体¥1,500-)**

**RRR-WB2 Bluegrass Word Book #2
41page-Book¥1,575- (本体¥1,500-)**

懐かしいブルーグラス・スタンダード歌詞集が
再発売だ。小さな字で、それぞれ300曲あまりの有
名曲を集めた実践向き歌詞集。この年になると、ち
と読み辛いのが、それでも持ち運び便利なジャムの
必需品なのだ。

楽器、その他...

**HAV-1 HENG SHENG 『Fiddle』¥189,000-
(本体¥180,000-)(Hellicore弦、ファイ
ンチューナー付)**

上品なオールド仕様のブルーグラス、オールド
タイム向けのバイオリン入荷中です。まさに「ダ
ークでスウィート」という形容がぴったりの楽器で
す。アマティ・タイプとストラディバリ・タイプ、
入っていますが、どちらも風格あるアンティーク仕
上げで良いです。当然、オールドに比べて音は若
いですが、新品にしては非常に落ち着いた音のある
音色です。ストラドの方が音の立ち上がりが良いの
でブルーグラス・バンドで弾くには良いように思
います。アマティの方はまるやかな音色で一人で
弾くには耳に優しくして何時間でも触っていたい気
にさせてくれる楽器です。ヨーロッパのオールド

市場が高騰している昨今、コスト・パフォーマンス抜群のこちらをお勧めします。

MISC-SLCVS バイオリン用「スーパー・ライト・ケース」角型(2.2kg)¥33,075 (定価 ¥36,750)、三角(1.7kg)MISC-SLCV¥23,850(定価 ¥26,250)

高級感溢れるバイオリン用「スーパー・ライト・ケース」、単体でも取扱い開始しました。断熱効果に優れ、ライト・ウエイト。スタイリッシュでカラーリングもシックなブラウン、パーガンディ、ブルー、ブラックの4色。ディーブポケット・システム採用により大判スコアの収納も可能(ブルーグラスにはあまり関係有りませんが・・・)小物収納に便利なネット付。

BU-ST 『ブルーグラス・アンリミテッド社のバンパー・ステッカー』各¥315-(本体¥300-)(再入荷)

30年以上に渡り、ベストセラーを続けていますブルーグラス・アンリミテッド社のバンパー・ステッカー全6種類が揃いました。紺地に白字で鮮やかなブルーグラス・スローガンが書かれたシンプルなもの。29cmx7cmの横長。スローガンは以下の通り。

I LOVE BLUEGRASS
BLUEGRASS MUSIC FINGER PICKING GOOD
BLUEGRASS MUSIC HEARIT, PLAY IT, LOVE IT!
MY GRASS IS BLUE
HAVE YOU HUGGED YOUR BANJO TODAY?
CLEAN UP AIR PORLUTION PLAY BLUEGRASS MUSIC

輸入雑誌

(以下の3誌は英語版で、共にバックナンバーも豊富に取り揃えています。気になるアーティスト等の特集等についてはお問い合わせ下さい。...調べる&知るの面白さをいかがですか)

バンジョー・ニューズレター誌 各¥525-

世界唯一のバンジョー専門月刊誌。毎号タブ譜満載(ウェブサイトから『MP3』で音の入手可!!)バックナンバー(探しておられるタブ譜の曲名や演奏スタイル、またお気に入り奏者の特集も探します)もお問い合わせ下さい。

BNL-06/09 最新9月号 ¥525-

ザ・チャップマンズのビル・チャップマンをメイ

ン特集に、ボブ・カーリンのオーストラリアのバンジョー史と"Waltzing Matilda"、アール・スクラッグスの"Hot Corn Cold Corn"、トム・アダムズの"Crazy Heart"ほか。

BNL-06/10 最新10月号 ¥525-

トニー・トリシュカとベラ・フレックによるアール・スクラッグス・インタビュー、アールの"Foggy Mountain Top"のタブ譜のほか、"Foggy Mountain Breakdown""Nine Pound Hammer""In the Glory Land"など、アール・スクラッグス大特集前編。

ブルーグラス・アンリミテッド誌 各¥525-

米国最大のブルーグラス月刊専門誌。お探しておられる記事など、お問い合わせください。

BU-06/11 最新11月号 ¥525-

ジョン・コーワンのカバーストーリーのほか、ルー・リード、ハーリー・アレン、ルーイ・セツターなどの特集ほか、さまざまなコラムに情報満載で、米国ブルーグラス事情を知る74頁の月刊誌。

オールドタイム・ヘラルド誌 各¥945-

内容の濃いオールドタイム音楽専門誌。アメリカン・トラッド音楽研究に必読の良書!!バックナンバーが揃っています。お問い合わせください。

月刊『ムーンシャイナー』

1983年11月の創刊以来、毎月発行を続ける日本唯一のブルーグラス月刊専門誌、24年目です。

定期購読：1年¥6,000-半年¥3,300-

お申込はお葉書やお電話、ファックスやメールでご希望の購読開始月をお知らせ下さい。バックナンバーも含めて、いつからでもご自由です。

ムーンシャイナー・ファイル：¥525-

ムーンシャイナーの一年分12冊を傷をつけずにファイルできるココヨ製ロゴ入り特製フォルダー。

バックナンバー：各¥525-

下記以外にも、アーティストや知りたい事をお知らせ下さい。掲載号を探してお送りします。

MS-2403 最新1月号(通巻279号)¥525-

最新1月号は、ジェリー・ダグラスをカバーに、彼らIBMA基調講演の全訳で過去・現在・未来のブルーグラス像を示してくれます。そのほか、トラッ

ドグラスの新しい提案と「トラッドグラスを引き継ぐ者たち」の紹介、名古屋ブルーグラス・ミーティングと中部地区ブルーグラス事情、新シリーズ「日本ブルーグラス(カントリー)年表」、ニッサンCM "Sunny Side of Life" 制作顛末記、ニューイングランド・フィドル、IBMAワールド・オブ・ブルーグラス・レポート などの特集ほか、レオナのアパラチア日記、チチ松村のバンジョー祭り、アメリカン・フィドル物語、ナッシュビルとブルーグラス、ケイシのナッシュビル・レポートなどの連載にニュース、レビューなど、日米ブルーグラス情報満載。

B.O.M. ご利用方法

- 1). このニュースレターで紹介する商品はすべて在庫しています。レターでの表示価格は消費税抜きですので、送料と共に請求時に加算されます。
- 2). ハガキやお電話、ファックス、Eメール等で、封筒のお名前下の6桁お客様コード番号とお名前と共に、ご希望の商品コードをお知らせ下さい(留守番電話もご利用ください!)
- 3). 通常ご注文から1週間以内にはお届けします。ただ、レター掲載時には充分な在庫を心掛けていますが品切れになった場合、再入荷を期して発送が遅れる場合もありますのでご了承ください。
- 4). 基本送料は下記の通りです。
500g (CD 3枚程度)まで、全国均一¥390。
1Kg (CD 7枚程度)まで、全国均一¥700。
ただし、特定地域、特定商品などについては、別途加算の場合があります。お問い合わせ下さい。
- 5). お支払は、品物を受け取られてから1週間以内に同封請求書(代金+送料+消費税)をご確認の上、郵便振替や銀行振込でお願いします。

郵便振替 = 01160-8-74352
三井住友銀行・宝塚支店 = 普通 1229492
池田銀行・宝塚支店 = 普通 2330116

ビー・オー・エムのニュースレターは会員制ではなく、商品の定期購買者に無料でお届けしています。一定期間、ビー・オー・エムからお買上げない場合、勝手ながらレターの発送をストップさせていただきますので、ご了承下さい。

今回の『B.O.M. オープンハウス』は、1月28日(日)です。1時から5時まで、B.O.M. サービスに皆さんをお迎えます。音源は勿論、演奏法や楽器について

のご相談などにも応じます。また、来訪いただいた方への特典も用意しています。道順などはお問い合わせ下さい。...Y'all Come!!

輸入CD、DVD、ビデオを3点以上購入の方送料サービス!!

輸入CDとビデオ(DVD)など、合わせて3点以上ご購入の方の送料をサービス、ご好評を頂き、しばらく継続させて頂きます。ただ、品切れに備え、第2希望以下2、3枚程度の予備をお知らせ下さい。

(株) ビー・オー・エム・サービス

〒665-0842 兵庫県宝塚市川面 6-5-18

tel.0797-87-0561

fax.0797-86-5184(24時間)

(営業時間：月～金の午前10時～午後5時。なお、土曜、日曜、祝日はお休みをいただきます)

また、ビーオーエムのメール・アドレスとホームページは以下の通りです。随時、最新入荷案内やニュースレターのバックナンバー、在庫リスト、ムーンシャイナール誌などを紹介しています。

<http://www.bomserv.com/>

E-mail : info@bomserv.com